

別府小グランドデザイン

学校教育目標

「高い目標と自律・共生の心を持った児童の育成」
○進んで学習する子 ○他人を思いやる子 ○体力・活力のある子

本校の外国語教育の方針

進んで外国語に触れたり、外国語によるコミュニケーションを体験することを通して、コミュニケーション能力の素地を育成する。

外国語の基本的な表現を用いて、 思いや考えを伝える児童の育成

～ 音声から文字へ、4技能の系統的な指導を通して ～

目指す児童像

- 歌や絵本を通して英語の音声に慣れ親しみ、英語を聞いたり話したりすることを楽しむ児童。
- 英語の音声や表現に慣れ親しみながら、英語を聞いたり話したりしようとする児童。
- 英語の音声や表現に慣れ親しみながら、進んで自分の思いや考えを伝えることができ、英語を読むこと、書くことに意欲的な児童。

時代の要請

- ◆平成25年12月文部科学省より「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」発表
- ◆平成32年度には外国語を教科として全面実施が検討

主題設定の理由

外国語活動を通じたコミュニケーション能力の重要性を認識し、小学校段階にふさわしい「音声を聞くこと」を重視した活動を基盤として文字につなげていく系統的な指導の実践のため、本研究主題を設定した。

児童の実態

- ◆明るく素直、元気よくあいさつができてくつある。
- ◆自分の思いや考えを伝えることには消極的な児童が多い。

生きる力

「熊谷の子どもたちは、これができます！」

4つの実践 **アクセル**

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動 **ブレーキ**

- テレビの時間を減らします。
- ゲームの時間を減らします。
- 携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

家族で約束を

《 大人が手本となって 》

家庭・地域との連携